

編集室 徳会広報 室
茨木市見付山1丁目3-29
電話 072-665-5165
FAX 072-665-5166

華

平成28年3月21日(月・休)に常観堂で『入進学卒業お祝い会』を開きました。
このたびは幼稚園入園3名、小学校入学4名、中学校入学6名、高校入学6名、保育専門学校進学が1名と合計20名の児童が入進学を果たしました。法人内各施設のご利用者の方々から暖かいお祝いの言葉とともにお祝いの品がプレゼントされ、みんなとても嬉しそうでした。
その後の自己紹介のときは、入進学を目前にして緊張と不安な気持ちを持ちながらも、「学校の勉強に力を入れる。」や「部活を頑張りたい。」など、頼もしい抱負を話してくれる子どもも多く、職員一同子ども達それぞれの成長を感じることが出来たひと時でもありました。

20名の子ども達を祝福 ～入進学卒業お祝い会～



「はぎ」ご利用者が子ども達に入学お祝いの言葉

自己紹介に続き子ども達からお祝いのお礼として、「ピリブ」の歌を元氣よく合唱しました。
ご利用者の皆さんの子ども達を見つめる、温かく優しい目かとても印象的でした。沢山の方々に見守られながら今日この日を迎えられることに感謝するとともに、これからも子ども達への変わらぬ応援をよろしく願います。

ふじだな

今年も春が巡って参りました。近年は地球温暖化の中で、世界的に暖冬傾向にあります。が、やはり春は待ち遠しいものです。
古代中国では(五行説)四季の色をそれぞれ表現し、それによれば春は青色です。「青春」の語源は、まさにこの定義によるものでしょう。

春は、また別れと出会いの季節でもあります。三月は、卒業、退職という節目の時期であり、四月になると新入生、新入社員がスタートを切る初々しい季節でもあります。
ちょうど花見時とも重なり、「年々歳々花相似たり、歳々年々人同じからず」は、自然の営みと人生を対比させた「名句」と言えます。
慶徳会も事業の性格上、常々多くの方と出会う機会を頂き、とても有り難く思います。お一人おひとりとのご縁を大切に、より良いサービスに取組んで参ります。
慶徳会は、今年で創立八十五周年を迎えます。多くの方々のご協力とご支援のおかげで、着実に歴史を積み重ねることが出来ました。
新しい事業取組みを推進していく中、地域の皆様から一層信頼される法人へと成長してまいれる所存ですので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

編集後記

皆さんもお気付きかと思いますが、静華苑駐車場の北詰(西中学校前)に立てていた慶徳会見付山地区各事業所の青地白抜き案内標識を建替え、表示も写真のようにシンプルで爽やかな色合いとデザインで「慶徳会福祉の杜」の表示に改めました。
日頃多数の車が行き交う道路沿いに鮮やかに整備された標識は、大勢の方の目に留まることを期待しています。
皆さんも一度ご覧になって下さい。



社会福祉法人 慶徳会のホームページ <http://www.keitokukai.or.jp>



理事長を囲んで
真華苑・常清の里の皆さん

職員互助会 「木曾路」で「豪華」食事を開催



真華苑・
養育センターの皆さん

西河原・静華苑
光華苑の皆さん

味でしたが、飲食が進むにつれ徐々に打ち解け、「私の趣味は食べることです!」と頼もしい飲みっぷりと健啖ぶりを披露してくれる人もいました。
落ち着いた雰囲気のお店で和やかな雰囲気の中、あつと言つ間に時間が過ぎ、普段の食事には、少し荷が重い、「豪華」しゃぶしゃぶコース料理を堪能して頂いたものと自負しております。
職員互助会では皆さんに楽しんで頂けるよう、今後も様々なレクリエーションを企画してまいります。多数のご参加をお待ちしております。

平成28年1月21日(木)に、法人主任会議の企画による平成27年度の後期人権研修を、常清の里の地域交流スペースで、全職種を対象に開催し、60名が参加しました。

講師には、各方面でご活躍されており、「コーチ・ターニングポイント K O B E」の代表 桑 明彦様をお迎えし、「職場における、チームワークの向上にむけて、自分を理解し、他者との関わり方を考える」をテーマにご指導を頂きました。

研修の手法として、当初は、トランプカードを使ったグループワークを予定されていましたが、当初の想定より参加者が多くなったこともあり、その手法によれば、講師一人では進行が困難と判断され、トランプは使わず、講義とグループワークを交えた講演となりました。

講演では、相手の心に近づく7つの表現を学び、コミュニケーションを深める手段や人が何気なくとっているコミュニケーションの方法を理解し、相手に効果的に伝える方法を学びました。
また、今回の研修では、「見る」「聞く」を重要視



「チームワークの向上に向けて」

27年度後期人権研修に60名が参加
—常清の里にて—



和気あいの楽しい研修でした



して進められ、相手に対する姿勢としては、【自分と相手の類似点を探そう】【相手が今欲しい情報を渡そう】【相手に最大級の感動を伝えよう】【相手に魅力的に伝えよう】【相手の視覚に伝えよう】【相手の納得度を高めよう】【相手との距離を表現で縮めよう】という視点で実際に隣の席の人と、話し合いや身振り手振りなどでコミュニケーションをとりながらの研修で、このグループワークを通じて他者との接し方のコツや手応えを感じ、とても和やかな雰囲気が醸成される中で、楽しくて、ためになる研修でした。

研修を終えて、参加した職員から、「人との接し方について、認識が改まった」「コミュニケーションを深めるきっかけが掴めた」など、様々な意見・感想が聞かれ、大変有意義な研修となりました。

最後に先生から、「物事の捉え方、自らの目線の高さ、行動、角度を変える。つまり、自分から変わることで相手に近づいていくことができる。」との締め括りのお言葉がありました。